

## 「STI for SDGs」アワード 募集要項

以下に、「STI for SDGs」アワードの募集要項を記載します。応募にあたっては、応募申請用紙内に記載の「記入上の注意事項」も、必ず参照してください。

- ※ **新型コロナウイルス感染防止の観点により、本要項記載のスケジュール等の内容につきましては、今後変更の場合があります。詳細につきましては、ホームページにてお知らせいたします。**

### 1. 募集対象

科学技術イノベーション（Science, Technology and Innovation : STI）を用いて社会課題を解決することによりSDGsの達成を目指す、地域における優れた取組を対象とします。

STIについては、分野、用途、新規性、技術水準等の要件を設けません。他地域へも展開ができるような取組を広く募集します。

### 2. 応募要件

- ・ STIを用いて社会課題を解決することによりSDGsの達成を目指す、地方自治体、民間企業、大学等（国公立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人・NPO等の非営利法人等）、教育機関（高等学校、中学校等）、自治会やサークル、市民ネットワーク等の団体による国内における取組であることを要件とします。
- ・ 応募は自薦のみとします。

### 3. 表彰

- ・ 文部科学大臣賞（1点）
- ・ 科学技術振興機構理事長賞（1点）
- ・ 優秀賞（4点程度）
- ・ 次世代賞（3点程度）

次世代賞は、大学生、高校生以下の若い世代の方が主体となって活動している優れた取組を対象とします。但し、これらの方が主体の取組であっても、その他の賞にふさわしいと判断された場合は、次世代賞以外の賞の対象とする場合があります。

- ※ 賞の名称、種類、点数などは変更になる場合があります。

#### 4. 募集期間

令和2年4月24日（金）～7月15日（水）

#### 5. 応募方法

本要項をご確認のうえ、応募申請用紙に必要事項を記入し、応募サイトからご応募ください。  
また、記入に当たっては応募申請用紙に記載の「記入上の注意事項」も参照ください。

※応募サイト URL : <https://form.jst.go.jp/enquetes/award-2020>

#### 6. 選考方法

選考は、以下の通り書類評価と面接評価の2段階にて実施します。

- ・応募いただいた取組について選考委員会による書類評価を実施し、面接評価に進む取組を決定します。（選考委員会委員一覧は別紙1参照）
- ・面接は、以下の日程にて実施します。**面接の時間、順番等については、結果通知の際に事務局よりご連絡いたします。必ず指定の日程にてご出席ください。**

日程： 9月23日（水）〔予定〕 ※1団体につき30分程度

※予備日 9月24日（木）〔予定〕

場所： 東京都千代田区近辺 〔予定〕

- ・面接の際には、応募時の申請書とは別にプレゼンテーション資料を改めて提出いただきます。
- ・面接評価の結果により、表彰対象となる取組を決定します。
- ・評価は包摂性、統合性、科学技術イノベーションの活用、革新性・独創性など、8つの項目を元に実施します（評価項目詳細は別紙2参照）。

#### 7. 選考結果の通知

- ・書類評価の結果、面接評価に進まれる取組については、8月末までに代表者の方にご連絡いたします。面接評価に進まれない取組についてはご連絡を行いませんので、予めご了承ください。
- ・面接評価の結果は、10月中旬に面接に参加された全団体の代表者の方宛にご連絡いたします。
- ・選考に関する照会は受け付けません。

#### 8. 表彰式

表彰式は11月中旬頃の実施を予定しています。詳細については、別途ホームページ等でお知らせします。

## 9. その他

- ・応募された取組が何らかの賞を受賞された場合、表彰式への出席および、当機構が主催・共催・関係するイベント等における取組の水平展開施策や、各種メディアでの取組紹介を目的とした取材等へ、ご協力をいただきます。このため、資料や写真のご提供や、イベントにおけるご登壇などをお願いする場合があります。具体的な内容については受賞後にお知らせしますが、本アワードが目指す好事例の他地域への展開のため、極力ご協力をお願いいたします。

### <水平展開施策に関するご依頼の例>

- ・サイエンスアゴラ 2020 でのイベントへの参加（開催時期・形態は別途発表）
  - ・エコプロ 2020 における科学技術振興機構出展ブース内でのイベントへの参加（2020年11月26日～28日を予定）
  - ・科学技術振興機構が運営する Web サイトへの記事掲載（Science Window, Science Portal, SCENARIO 等） など
- ・応募者に、応募に係る虚偽記載、法令違反の容疑により逮捕され又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合等、不正又は不誠実な行為があった場合は、表彰の対象としないことがあります。

### <お問合せ先>

お問合せは、以下のアワード事務局までお願いいたします。

国立研究開発法人 科学技術振興機構 「科学と社会」推進部

E-mail : [sdgs-award@jst.go.jp](mailto:sdgs-award@jst.go.jp)

---

■ 主催： 国立研究開発法人科学技術振興機構

■ 後援： 文部科学省

別紙 1 : 選考委員会 委員一覧

(敬称略, 委員 : 50 音順)

役割	氏名	所属・役職
委員長	蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授
委員	上田 壮一	一般社団法人 Think the Earth 理事
委員	小原 愛	一般社団法人 Japan Innovation Network ディレクター
委員	白木澤 佳子	国立研究開発法人 科学技術振興機構 理事
委員	須崎 彩斗	株式会社 三菱総合研究所 オープンイノベーションセンター センター長
委員	新田 英理子	一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク (SDGs ジャパン) 事務局長

別紙 2 : 評価項目詳細

No.	項目	視点
1	包摂性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs の「誰一人取り残さない」という理念に沿った取組であるか。</li> <li>・ 人権の尊重や多様性の観点を勘案した取組であるか。</li> </ul>
2	統合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単一の社会課題、SDGs 目標だけでなく、複数の社会課題の解決、SDGs 目標の達成を目指す、統合的解決の視点を持った取組であるか。</li> </ul>
3	科学技術イノベーションの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象となる社会課題に対して、科学技術イノベーションが重要な役割を担っている取組であるか。</li> </ul>
4	革新性、独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会課題の解決手段や着眼点にオリジナリティのある取組であるか。</li> </ul>
5	展開性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決に向けた取組に普遍性があり、他地域への水平展開が可能な取組であるか。</li> </ul>
6	継続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会課題の解決が一時的なものではなく、持続的な解決が図られる取組であるか。</li> </ul>
7	マルチステークホルダー参加型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会課題の当事者が主体的に参加している取組であるか。</li> <li>・ 多様なステークホルダーが参画し、それぞれの英知を結集した取組であるか。</li> </ul>
8	ストーリー性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs の達成、または社会課題の解決に向けたストーリーが明確な取組であるか。</li> </ul>